

令和6年度
第1回丹波市上下水道事業運営審議会

議 事 録

令和6年8月29日(木)
春日住民センター 研修室

1 開会日時 令和6年8月29日(木) 午後1時30分 開会

2 開催場所 春日住民センター 研修室

3 出席者 (委員)

笹川一太郎 委員、野垣 克巳 委員
坂谷 高義 委員、中道知代子 委員
國光はるみ 委員、吉見 温美 委員
関下 弘樹 委員、荻野隆太郎 委員

委員8名

4 欠席者 (委員)

神成 徹 委員

委員1名

5 事務局

内堀日出男 上下水道部長、村上 健 下水道課長
荒木 敏明 水道課長、森津 和之 水道課副課長
矢持 竜児 下水道課経理係長、間島 智恵 水道課経理係長
荻野佐和子 主幹、吉見穂乃佳 主事

事務局8名

6 会議に付した議題及び案件とその内容

次第 1 開会

次第 2 部長あいさつ

次第 3 委嘱書交付

次第 4 委員紹介

次第 5 丹波市上下水道事業運営審議会についての説明

次第 6 正副会長の選出

会長:坂谷高義委員

副会長:笹川一太郎委員

次第 7 会長あいさつ

次第 8 資格審査報告

次第 9 議事録署名人選出

次第 10 報告事項

- ・上下水道事業の経営状況について
- ・上下水道事業の現状と課題について
- ・議会等調整スケジュールについて

次第 11 その他

次第 12 閉会

7 議事の経過

1 開 会

(事務局)

定刻が参りましたので、ただいまから第1回の丹波市上下水道事業運営審議会を開催させていただきます。私は本日の司会をさせていただきます、上下水道部下水道課長の村上と申します。よろしくお願いいたします。

本日委員の皆様には大変お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。今回は水道事業と下水道事業の運営審議会を統合して初めての会ということで、この後、正副会長を委員の皆様の中から選任いただきます。それまでは進行を事務局の方でさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは次第2に入らせていただきます。上下水道部長の内堀よりあいさつ申し上げます。

2 部長あいさつ

(事務局)

皆さんこんにちは。上下水道部長の内堀と申します。どうぞよろしくお願いいたします。日頃は上下水道事業をはじめ市政全般にわたりましてご理解、ご協力賜っておりますこと、この場をお借りして心からお礼申し上げます。また、本日は台風が接近しております、当初の日程も変更させていただくような状況で、ご出席いただきましてありがとうございました。

さて、1月1日に発生しました能登半島地震の被災地では、水道管の破損というものが広範囲に及び、今なお復旧の目処がたっていない地域もあります。半島の最北端に位置する珠洲市では、特に下水道の普及が進んでいないということで、依然として仮設トイレを使用している場所もあると聞き及んでおります。また、8月8日には宮崎県日向灘を震源とする地震においても水道管の破裂や断水が相次いで報告されております。国内の水道普及率は、2022年の3月末では98%、下水道普及率は80%と非常に高い普及率を更新しております、社会インフラとしての整備は進んでいるところです。水道管の老朽化や進まない耐震化の問題が地震によってあらためて浮き彫りにされたというところであります。

また一方、経営面では、自治体の水道経営の支援などを行うEYJapanなどの研究グループによりますと、25年後の2046年は、経営が赤字にならないためには1,243事業体のうち96%の事業体において、水道料金を約5割も上げる必要があるというような報告もされています。これまで水道行政はどちらかというと生活の下支えとしての政策がとられており、24時間365日蛇口をひねれば自然と水が出るように、「生活で水道のことは心配しないでくださいね。」と言っておりました。

しかし、これからはこの当たり前が当たり前であり続けるため、どのように水インフラを整備して次世代へ伝えていくべきか、一人一人が意識して、正面から向き合わなければならない時代がきております。ニュース映像などでも久しぶりにシャワーを浴びて笑顔でインタビューを受ける避難者を見ていると、水のインフラは我々の日々の暮らしや衛生面だけでなく、精神面でも重要な役割を果たしていると感じます。

これからの2年間ではございますが、皆様には、この大切な水インフラをどのように次世代につないでいくかを事務局と一緒に考えていっていただきたいと考えております。本日は、基本的には報告が中心となりますが、ぜひ前向きな意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3 委嘱書交付

(事務局)

それでは次第3、委嘱書の交付に移らせていただきます。本来であれば、市長から交付させていただくところでございますが、本日は公務のため欠席させていただいております。また、委員のみなさま方お一人お一人に委嘱書をお渡しするのが本意ではございますが、時間の都合上、お一人だけ代表でお渡しさせていただきますのでご了承ください。

それでは、代表して笹川委員様お願いいたします。

－ 委嘱書を手交 －

(事務局)

その他の皆様におかれましては委嘱書をお席にお配りさせていただいておりますので、ご確認ください。

4 委員紹介

(事務局)

それでは次第4、今回委員としてお世話になります皆様をご紹介します。

－ 委員名簿に沿ってお名前を紹介 －

(事務局)

続きまして、事務局職員の自己紹介をさせていただきます。

－ 各職員が自己紹介 －

5 丹波市上下水道事業運営審議会についての説明

(事務局)

それでは次第5、上下水道事業運営審議会につきまして、事務局よりご説明を申し上げます。

(事務局)

下水道課経理係長の矢持です。まず、事前に郵送させていただいておりました本日の資料の確認をさせていただきます。

－ 資料不足の申し出なし －

－ 資料1を説明 －

6 正副会長の選出

(事務局)

では、続きまして審議会の進行、取りまとめなどをお世話になります会長、副会長の選出を互選いただきます。皆様、ご意見等ございませんか。初めての方もいらっしゃいますので、よろしければ事務局から提案させていただいてもよろしいでしょうか。

－ 異議なし －

(事務局)

当審議会は、使用者を代表される方6名、識見を有しておられる方1名、公募により選出された方2名です。その中で使用者を代表される方の中から、会長、副会長を選出していただくのはいかがでしょうか。また、会長を丹波市自治会長会から推薦いただいた3名の中から1名、副会長を丹波市消費者協議会から推薦いただいた3名の中から1名、それぞれの会から互選をいただくのはいかがでしょうか。

(委員)

自治会長会から会長、副会長の2名を選出いただければ結構かと思えます。

(事務局)

協議がまとまりましたら、この後の司会進行の段取りもございますので、しばらく休憩いたします。

－ 副会長も自治会長会から選出されることを協議 －

(事務局)

では再開させていただきます。

会長の候補者として、自治会長会から坂谷委員、副会長の候補者として、同じく自治会長会から笹川委員の推薦がありました。賛同いただける方は、拍手をお願いします。

それでは、委員の皆様にご承認をいただきましたので、会長に坂谷委員、副会長に笹川委員が選出されました。

7 会長あいさつ

(事務局)

では、次第7、会長よりあいさつをお願いします。

－ 会長あいさつ －

(事務局)

ありがとうございます。では、ここからは会長に議事の進行をお願いします。

8 資格審査報告

(会長)

それでは、レジメに添って進行していきたいと思います。

次第8、資格審査報告をお願いします。

(事務局)

本審議会の委員は9名です。本日ご出席の委員は8名で、過半数の委員の出席がございますので、本審議会が成立することを報告させていただきます。

(会長)

ありがとうございます。定足数に達しておりますことを確認させていただきました。

9 議事録署名人選出

(会長)

それでは次第9、議事録署名人選出。議事録署名人の2名を、私から指名させていただきます。中道委員、吉見委員の2名の方、よろしくをお願いします。

10 報告事項

(会長)

報告事項に入ります。

上下水道事業の経営状況について、事務局より説明をお願いします。

－ 資料2を説明 －

(会長)

ご意見ご質問はございませんか。

(委 員)

7ページの川東というのは、どの地域のことですか。

(事 務 局)

旧市島町の福知山市寄り、竹田地区の一番奥です。

(委 員)

水道事業には、一般会計繰入金はないのですか。

(事 務 局)

水道にもありますが、本日の資料では割愛しています。

(委 員)

4条(予算)ですか。

(事 務 局)

3条(予算)、4条(予算)の両方あります。

(会 長)

続きまして、上下水道事業の現状と課題について、説明をお願いします。

－ 資料3を説明 －

(会 長)

ご意見ご質問はございませんか。

(委 員)

水道の給水管で漏水件数がすごく多いようですが、どういう種類の管で漏水しているのですか。鉛管ですか。

また、料金回収率が低い原因は何でしょうか。料金が低いといった不満もある中でたいへんだとは思いますが。

(事 務 局)

給水管ですが、三十年、四十年前はポリエチレンの薄い一層管がよく使われていて、そういったものが経年劣化することにより漏水しています。今のものは二層のものが主流ですので、漏水することは、めったにありません。また、鉛管はほとんどありません。

あと、料金回収率ですが、これは、供給単価を給水原価で割ったものでして、給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す指標です。この料金回収率が100%を下回っている場合は、給水にかかる費用が給水収益以外の収入で賄われていることを意味して、市においては、水道料金で費用を賄えていない状況を表しています。これとよく似て、収納率というものがあまして、実際にお金を回収した割合ですが、約95%近くあります。

また、有収率というものは、総有収水量を総配水量で割ったものでして、資料でお示ししているとおり低い率となっており、漏水が主な原因となっています。

(委 員)

漏水が多い箇所については、調査してターゲットを絞って対応されていますか。

(事 務 局)

市内の管路延長は890kmほどありますが、年間4km、5kmしか更新ができません。ですか

ら、ある程度エリアを絞って対応しています。

(委 員)

そのことで、漏水による経済損失が何と年間6億円と書かれています。毎日、お金を捨てているようなものとも。大変大きな課題の一つかなと思います。これはやはり老朽管の修繕が進んでないということですか。

(事 務 局)

現在、老朽管の更新計画をたてて整理しながら進めています。追いついていないのが現状です。現状では、年間5kmほどしか更新できていません。

(委 員)

これからの見通しはどうでしょうか。

(事 務 局)

課長が申し上げたような状況で、今後も見通しは暗いと言わざるを得ません。本日、このように資料に出させていただいたのは、まずは現在の状況、課題を知っていただき、今後どうしていくべきか考えていきたいということでございます。

(委 員)

下水道の不明水（の浸入）はどういったことが考えられますか。

(事 務 局)

マンホールと本管の繋ぎ目、公共枿、あるいは雨樋の誤接続もあります。中継ポンプ場の水位などを監視していますと、不明水の多い地域はわかりますので、雨の日に職員が見て回るなどして、誤接続を発見することもあります。

(委 員)

多可町のように（水道の料金回収率が）100%を超えているような市と、丹波市はほどのような違いがあるのでしょうか。

(事 務 局)

いろいろな要因が考えられますが、主には漏水だと考えています。

(委 員)

水道管の法定耐用年数は40年ですが、この老朽管の割合はどのぐらいでしょうか。

(事 務 局)

890kmというのは本管なんですが、4年度末現在で277kmあるので、約3割程度が法定耐用年数を超えた老朽管ということになります。

(委 員)

漏水についてですが、件数で把握されているようですが、量では把握はされていませんか。もし把握できるのであれば、どこで量が多く漏れているのかまず把握していただければターゲットが絞り易くなると思います。

(事 務 局)

年間5kmの老朽管更新の路線を決めるときには、給水人口や配水量も見ながら路線を決めています。このあたりは、もう少し技術が進歩していけば、AI解析なども導入して更新していく必要があると考えています。

(会 長)
その他ご意見や質問はありませんか。

(会 長)
続きまして、議会等調整スケジュールについて、事務局からお願いします。

－ 資料4を説明 －

(事 務 局)
次回の11月の諮問の具体的な日程については、今のところ11月20日水曜日を予定しています。現時点で自治会長会等、既に行事ごとが入っていましたら、日程は調整させていただきます。

(会 長)
自治会の方は、22日金曜日は県の大会がありますが、20日は大丈夫です。

(委 員)
消費者協議会も大丈夫です。

(委 員)
他にご意見や質問はありませんか。

(委 員)
市民アンケートを実施されるようですが、どのような内容になりますか。

(事 務 局)
市民アンケートは、水道に対してどういうイメージを持たれてるのかという内容のアンケートで、その結果を水道ビジョンあるいは今後の水道事業にどう生かしていくのかというようなアンケートになります。設問については、これから内容を詰める予定です。

(事 務 局)
現在、将来(100年先)を見据えて、どのような水道事業にしていく必要があるのかというようなビジョンを策定しようとしている最中でございます。これにはやはり、市民の方の意見も反映させるべきだと思っております。特に、若い方(中学生、高校生)の考えもしっかりと反映させていきたいと考えております。

(委 員)
水道事業の経営戦略については、継続されないのでしょうか。今後は、ビジョンの中に含まれるのですか。

(事 務 局)
計画がたくさんあるのはどうかと思いますので、ビジョンの中に入れていこうと考えています。

11 その他

(会 長)
以上で、質問はないようです。

それでは、その他でございますが、事務局から何かございますか。

(事務局)
ございません。

12 閉 会

(会 長)

それでは、本日の審議会を終了したいと思いますので、副会長、よろしく申し上げます。

(副 会 長)

本日は貴重な時間ご苦労さまでございます。委員の皆さんには、これから2年間、たいへんお世話になります。上下水道事業は、市民の方も非常に関心のある事業だと思いますので、引き続き審議していただき、より良いものになりますようよろしく申し上げます。

台風10号も間近に来ております。気をつけて帰っていただきたいと思います。

本日はご苦労様でございました。

(午後3時閉会)